



MATSUYA
R&D

Think sewing Think future

2025年3月期 決算説明会資料

株式会社松屋アールアンドディ | 証券コード：7317

2025年5月



▶ **01 2025年3月期 実績**
02 成長戦略

2025年3月期実績:サマリー



- 主にメディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯の売上増加のほか、セイフティシステム事業におけるカーシートの新規取引開始による売上増加に加え、ベトナム新工場での投資効果が年間寄与したことで**大幅な増収増益**となりました。

(単位:百万円)	2024.3 実績(B)	2025.3 実績(B)	前年同期比 (B/A)
売上高	8,433	9,567	113.4%
売上総利益	2,295	2,907	126.7%
売上総利益率	27.2%	30.4%	+3.2
営業利益	1,283	1,953	152.5%
経常利益	1,307	2,054	157.2%
税金等調整前当期純利益	1,307	2,050	156.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	953	1,560	163.7%
1株当たり当期純利益(円)	45.03	73.38	163.0%

2025年3月期:セグメント別売上高 & 利益

- メディカルヘルスケアにおいては、血圧計腕帯が円安ドル高による為替の影響のほか、単価の高い機種中心に出荷が増加したことで売上が大きく増加しました。
- セーフティシステムにおいてはカーシート事業の新規取引開始により売上が増加、下期において国内向けカーシート生産が落ち込んだほか、エアバッグにおける新年度開始事業に向けた投資負担があったものの、通期では増益となりました。

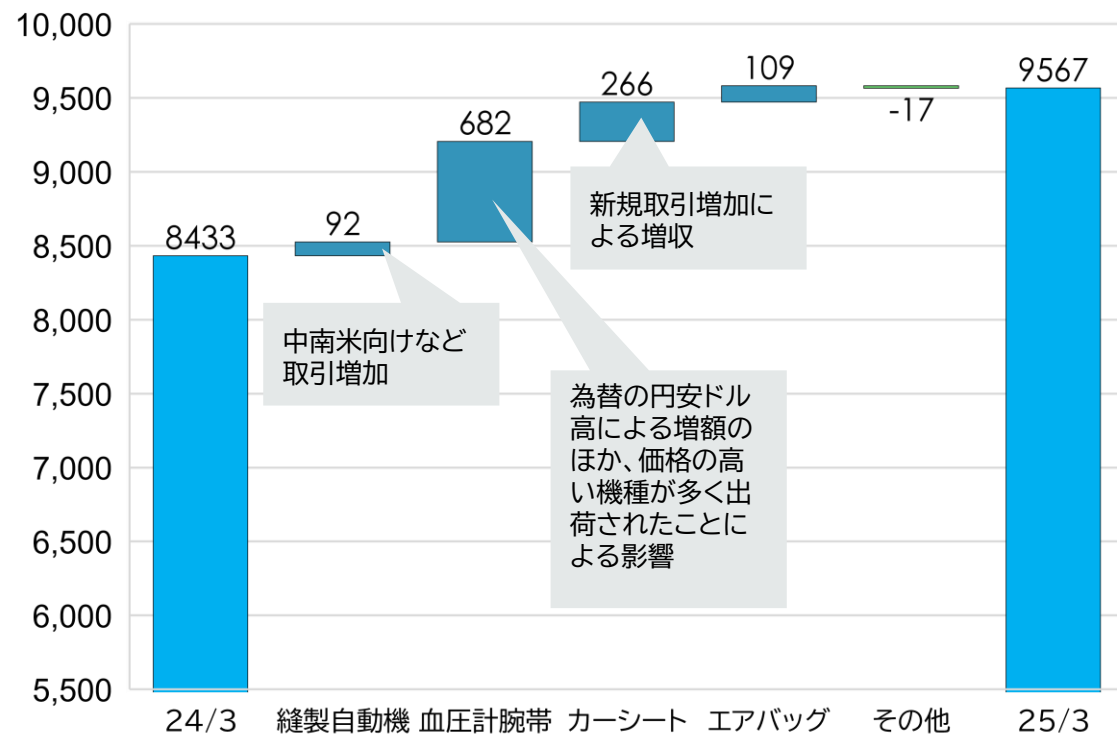
(単位:百万円)	2024.3 実績(B)	2025.3 実績(B)	前年同期比 (B/A)
売上高	8,433	9,567	113.4%
メディカルヘルスケア事業	5,374	6,059	112.7%
セーフティシステム事業	3,014	3,378	112.1%
その他	44	129	292.0%
セグメント利益	1,283	1,953	152.5%
メディカルヘルスケア事業	1,392	1,987	142.7%
セーフティシステム事業	166	252	151.2%
その他	18	31	166.5%
調整	△295	△318	—

2025年3月期実績:売上高及び営業利益の増減

- 血圧計腕帯のセールスマックスの変化とカーシートの新規取引で売上が増加しました。また、縫製自動機も海外展開拡大で増加となりました。
- 利益面では取引増加に加え、ベトナム新工場の投資効果が年間寄与により大幅な増益となりました。

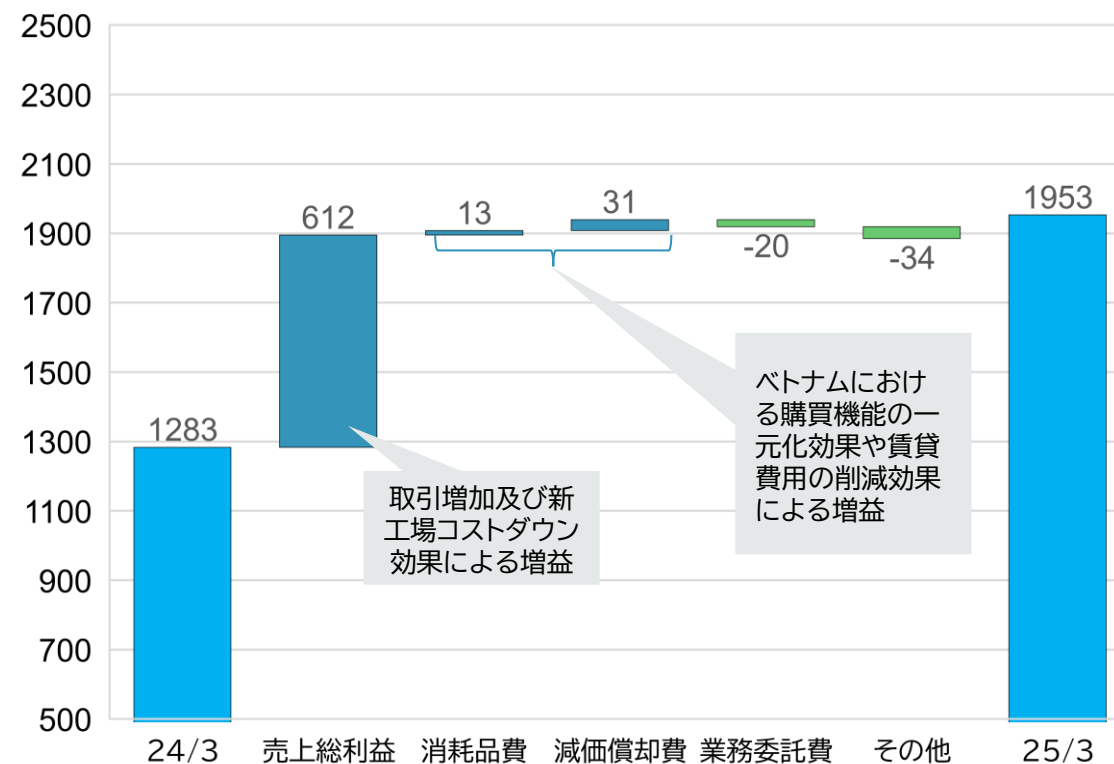
売上高

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



営業利益

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



2025年3月期:連結貸借対照表

(単位:百万円)	2024.3 実績	2025.3 実績	増減
現金及び預金	2,250	4,137	業績好調により増加。
売上債権等	1,734	1,307	
棚卸資産	2,713	1,822	
有形無形固定資産	2,925	3,271	ベトナム工場土地の権利を新たに取得したことによる増加
その他	298	369	
資産合計	9,922	10,907	
仕入債務	609	516	
借入金(長期含む)	2,654	2,308	
リース債務(長期含む)	188	177	
その他	1,276	972	
負債合計	4,729	3,975	
純資産合計	5,193	6,932	
負債純資産合計	9,922	10,907	

2025年3月期:連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2024.3 実績	2025.3 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	528	2,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△616	△745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△38
現金及び現金同等物の換算差額	123	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△147	1,811

営業活動によるキャッシュ・フロー

ベトナム新工場効果が年間で寄与したことやベトナムでの取引増加により営業キャッシュ・フローが大幅に増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

将来の生産委託の獲得に向けてベトナムで新たに工場用地12,000㎡を取得したことにより投資支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に松屋ベトナム新工場投資のための調達資金の返済が発生しました。

(単位:百万円)

	2024.3 実績	2025.3 実績
減価償却費	275	192
設備投資	△615	△501

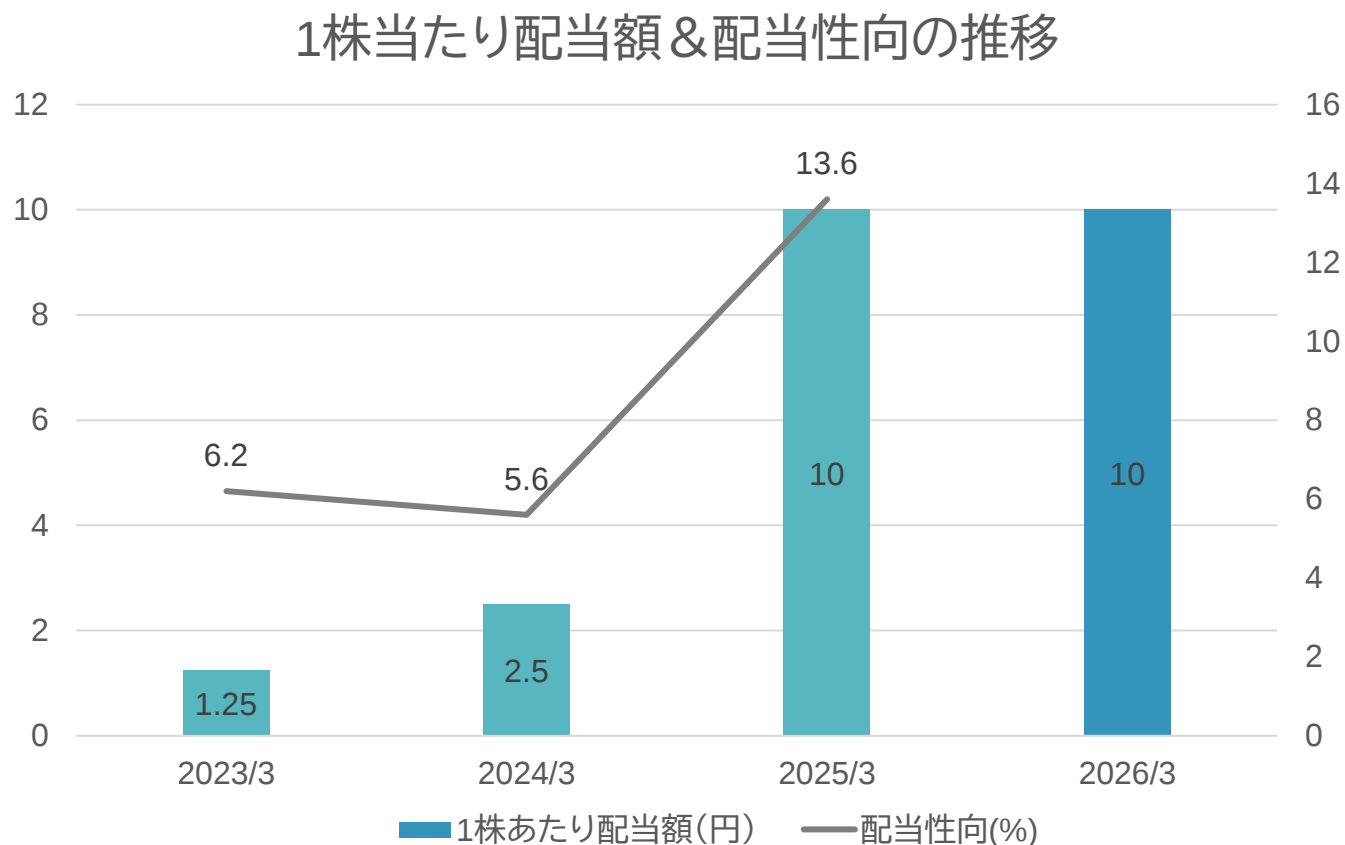
- アメリカの関税問題やウクライナや中東での紛争など世界情勢としては不安定な状況にあることから、為替が大きく円高に振れている状況にあります。また、営業・開発人材の獲得による投資もあり、業績予想としては前年比で若干の増収増益におさまる見込みとなります。
- そのような状況の中、エアバッグについて、2025年5月よりベトナムで新規製品の出荷が開始され、来期にはさらに増加する見込みなど取引拡大に向けて活動してまいります。
- 当社グループでは、アメリカにおける関税の影響については直接的な影響は少ないながらも今後注視してまいります。なお、現時点で受注状況に大きな影響は見られておりません。

(単位:百万円)

	2025.3 実績	2026.3 業績予想	増減率
売上高	9,567	9,600	100.3%
営業利益	1,953	2,000	102.4%
経常利益	2,054	2,080	101.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,560	1,603	102.7%
為替レート(USD/JPY) 4月～3月平均 2026.3は予想	152.58	142.00	
為替レート(VND/JPY) 4月～3月平均 2026.3は予想	0.0061	0.0056	

2026年3月期 配当予想

配当予想としては、外部環境の不安定な状況があることから、現時点では1株あたり10円の予定としています。
なお、将来の配当性向として、まずは20%を目標として今後、配当金を引き上げていく方針です。



01 2025年3月期 実績

▶ 02 成長戦略

メディカルヘルスケア事業およびセイフティシステム事業の拡大

- ベトナムを中心とした生産基盤をもとに3D縫製自動化ラインなど自動化に取り組み、メディカルヘルスケア事業及びセイフティシステム事業のそれぞれの受注を拡大する。
- 既存事業にとどまらず、新たな事業へ果敢に挑戦する。

新たな業界への拡大

Medical Healthcare

メディカルヘルスケア事業



血圧計腕帯の取組強化

(工程の自動化推進、サプライチェーン見直しなど)

リハビリロボット事業の強化(新製品導入なども取り組む) P.15

ウェアラブル機器など新しい事業領域への進出

ベトナム新工場の安定稼働、MIC開発力強化

P.11

縫製自動機事業の海外販売の強化

P.12 P.13

エアバッグ・カーシート事業での取引拡大

新たな事業領域への進出

(裁断工程の効率化サービス、生産管理システム etc)

ドローン用エアバッグの開発

P.14

Safety System

セイフティシステム事業



ベトナム生産受託事業の拡大：太陽光発電プロジェクトの実施

- 環境省およびその執行団体である公益財団法人地球環境センター（GEC）が公募した「令和5年度二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）資金支援事業のうち設備補助事業」に採択されました。
- 今後、太陽光発電システム稼働による光熱費の削減が期待されます。（2025年6月頃にプロジェクト開始見込み）

プロジェクト概要

「令和5年度から令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業）」を活用したGHG排出削減事業（エネルギー起源CO₂を含む）であるJCM設備補助事業であり、代表事業者である東京センチュリー株式会社と協働して実施いたします。

松屋ベトナムでは、今後、新工場において屋根置太陽光発電システムを導入し、GHG排出削減効果を算出するためのモニタリングを行い、その結果を環境省に報告いたします。

工場外観



縫製自動機事業の海外販売：欧州・中南米向けの受注拡大

概要

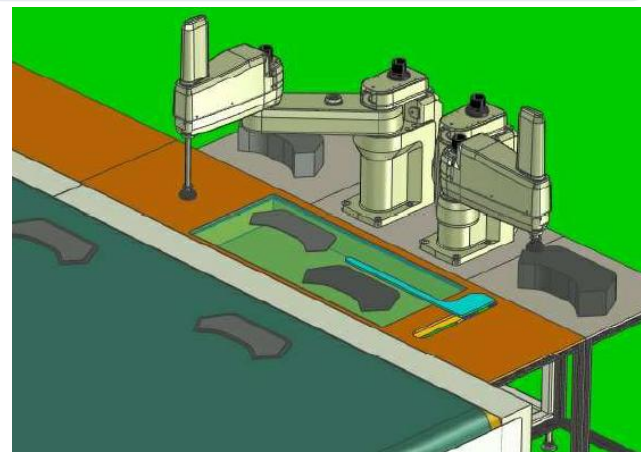
- 世界トップシェアを誇る欧州のカーシートメーカーから自動ピックアッププレイスロボットを受注し、南米でも営業活動範囲を拡大しております。
- アメリカにおける自動車関税や相互関税などの影響により、今後はコストダウンを目的とした自動化の需要は伸びてくることが予想されます。特に縫製に関する自動化を行っている会社は世界的にも少ないことから、営業拡大のための好機として、今後注力してまいります。

(受注状況)

2024年6月欧州向けで自動ピックアッププレイスロボットを受注

2025年1月に南米向けでエアバッグの自動縫製ラインを受注

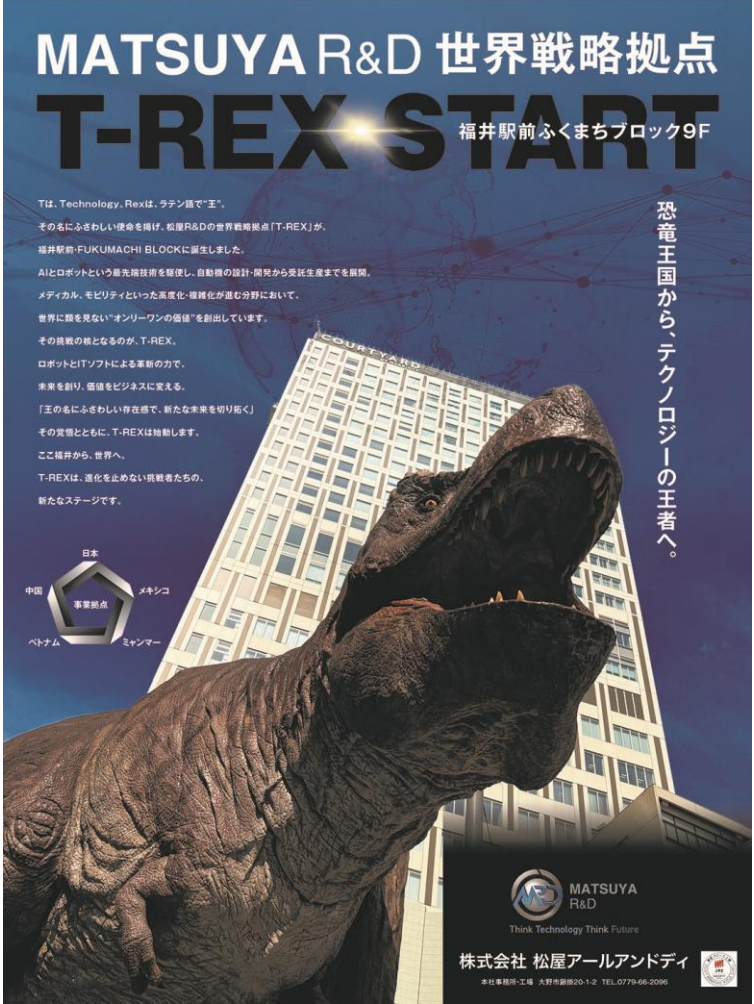
自動ピックアッププレイスロボット



縫製自動機事業の海外販売:世界戦略拠点 T-REX開設

概要

- 弊社の成長戦略として、縫製自動機など海外営業体制強化のために県外からも広くグローバル人材を募集していくほか、今後、ベトナム子会社のMatsuya Innovation Center(MIC)と連携したオフショアディベロップメントを推進していくため、AI関連も含め、多様な人材を募集する予定です。



MATSUYA R&D 世界戦略拠点
T-REX START 福井駅前ふくまちブロック9F

Tは、Technology, Rexは、ラテン語で“王”。
その名にふさわしい使命を掲げ、松屋R&Dの世界戦略拠点「T-REX」が、
福井駅前-FUKUMACHI BLOCKに誕生しました。

AIとロボットという最先端技術を駆使し、自動機の設計・開発から受託生産までを展開。
メディカル、モビリティといった高度化・複雑化が進む分野において、
世界に類を見ない“オンリーワンの価値”を創出しています。

その挑戦の核となるのが、T-REX。
ロボットとITソフトによる革新の力で、
未来を創り、価値をビジネスに変える。
「王の名にふさわしい存在感で、新たな未来を切り拓く」
その覚悟とともに、T-REXは始動します。
ここ福井から、世界へ。
T-REXは、進化を止めない挑戦者たちの、
新たなステージです。

日本
中国
ベトナム
メキシコ
ミャンマー
事業拠点

恐竜王国から、テクノロジーの王者へ。

MATSUYA
R&D
Think Technology Think Future

株式会社 松屋アルアンドディ
本社 事務所・工場 大野市御園20-1-2 TEL.0779-66-2096

ドローン用エアバッグ:米国で新たに特許取得

ドローン用エアバッグ

- 当該特許は、飛行機等は離陸時及び着陸時に事故が多いことから、離陸時及び着陸時にあらかじめエアバッグを開いて離陸、着陸できるようにエアバッグの展開と収納を制御するものとなります。
- 今後の米国でのドローン用エアバッグの事業展開に貢献できるものと見込んでおります。

特許名:Method of controlling drone with airbag and Drone with airbag
(エアバッグ付きドローンの制御方法及びエアバッグ付きドローン)
米国特許番号:11772597



リハビリロボット事業において、ポーランドのEGZOTECH社のLUNA-EMGなどを日本リハビリテーション医学会秋季学術集会など複数の展示会に出展しました。展示会中では、大手代理店、リハビリテーション病院、大学病院から多くのコンタクトを頂き、デモ・トライアルを実施しました。

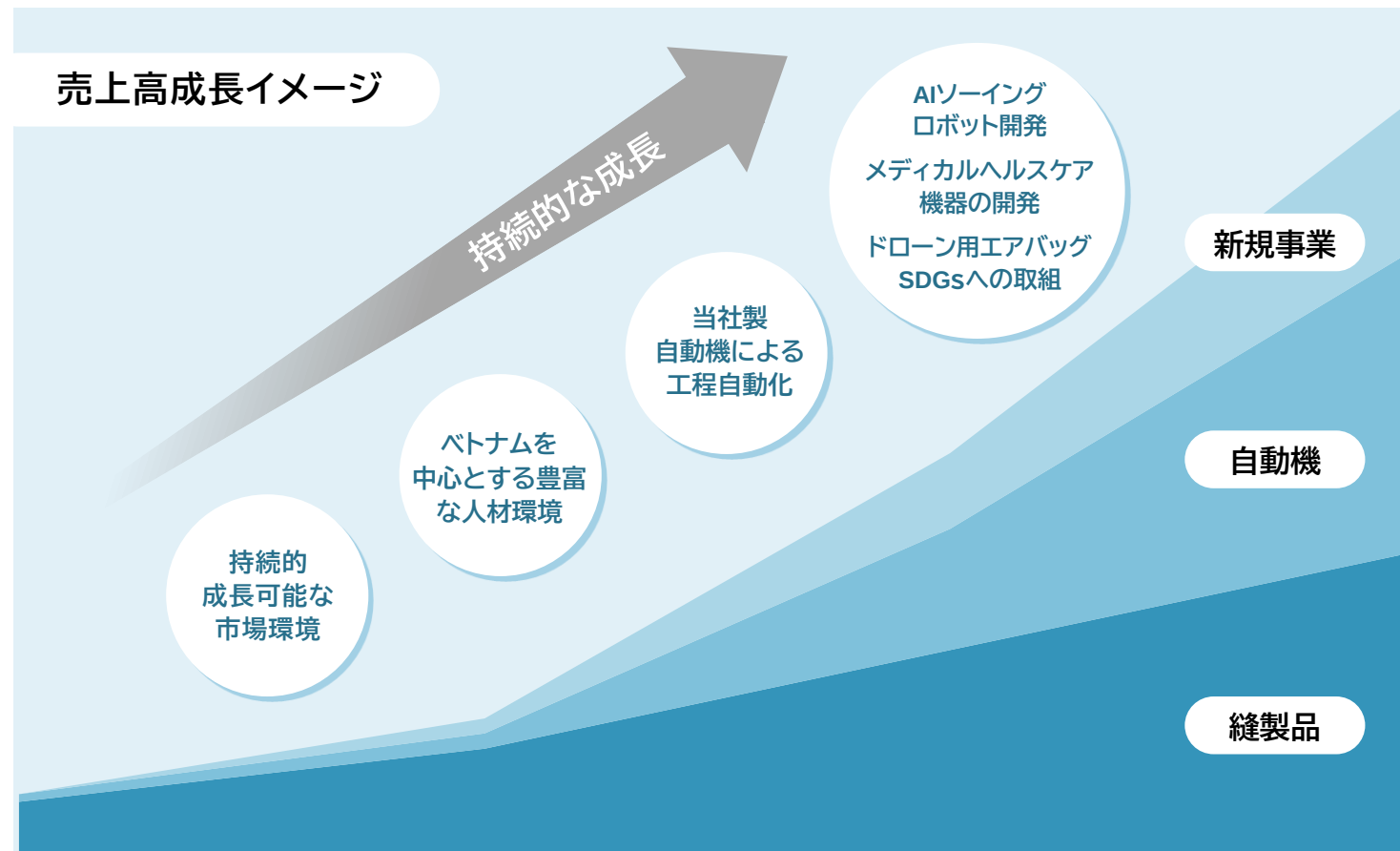
日本の医療機器は海外輸入に頼っている中で今後日本企業の新規参入を呼びかけることが衆議院経済産業委員会(4月18日)でも言及されており、今後は医療機器の国内製造も視野に検討してまいります。

(出展状況)

- ・第61回日本リハビリテーション医学会学術集会【2024年6月13日～16日】
- ・第6回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会【2024年10月4日～5日】
- ・第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会【2024年11月1日～3日】
- ・第7回済生会リハビリテーション研究会【2024年11月30日】



- 安定収入を生み出すベトナムを中心とした生産基盤を活かし、次世代縫製自動機の開発及び新規事業を中心に経営資源を投入し、持続的な成長を目指します。



新規事業

- ・リハビリ関連事業への進出、ウェアラブル機器の開発
- ・裁断業務サービス、EC事業・・・etc
- ・ドローン用エアバッグの開発・実用化

自動機の開発・製造・販売

- ・3D縫製ロボット、AI画像検査装置を活用した自動化ラインの開発
- ・業務提携により次世代縫製自動機の開発促進を行う。
- ・海外市場での販促強化

安定した生産基盤

- ・ベトナム及び国内における生産基盤を活かし、新規顧客獲得の推進、積極投資
- ・メディカル部門(血圧計腕帯、ウェアラブル等)の強化
- ・業務提携、M&Aを視野にした事業拡大

本資料の取扱について

本資料には、将来に関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については当社は何ら検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。